

# ようこそ畑へ

2008年11月4日(火),11月6日(木) VOL.21

木村秋則さんという方をご存知でしょうか。昨年から何度かおたよりに書いているので、記憶している方もいらっしゃると思います。木村さんは、青森県のりんご農家です。りんごは農薬なしの栽培は不可能というのが常識ですが、木村さんは肥料も農薬も一切使わずにりんごを栽培しています。

先日、会員の方から『奇跡のリンゴー「絶対不可能」を覆した農家木村秋則の記録』という本を貸していただきました。この本はNHK「プロフェッショナル」で放送された内容に追加取材したことを加えた、木村さんが無肥料無農薬でりんごが栽培できるようになるまでの記録です。

木村さんは、農薬散布で奥さんが体調を崩して繰り返し寝込む姿を見て、無農薬でリンゴを育てたいと考え、農薬の使用をやめることにしました。すると、病気や虫が大発生して、葉はほとんどなくなり、本来春に咲く花が秋に狂い咲きしたり、りんごの木はめっちゃくちゃになっていき、全く実をつけなくなりました。収入は途絶え、極貧生活の中、ありとあらゆる手段を使って虫や病気を食い止めようとしていましたが、効果はありませんでした。6年ほどたったある日、考えられることは全て試したがもうだめだ、こんなことになったのは自分のせいだ、死んでお詫びしようと、首をつるために山の中に入りました。死に場所を探しているうちに、木村さんは山の木が、誰も肥料も農薬をやらないのに元気に成長していることに気がきます。なぜこんなに元気に育つのだろうと思い、夢中で土を掘ってみたところ驚くほどやわらかく、良い香がして、自分のりんご園とは全く違うことに気がきました。木村さんは、これまで、自分が土の上ばかりみていたことに気付き、この山の土をりんご園に再現すれば、りんごは元気に育つはずだと考えたのです。そして、農薬をやめてから8年が経過し、木村さんのりんご園では農薬も肥料も一切与えずともりんごが収穫できるようになっていったのです。

昨年7月、講演のため札幌を訪れていた木村さんが、ひょんなことから伊達家の畑に来てくださいました。木村さんのすごいところは、木村さんが壮絶な闘いの末に手に入れた、無肥料無農薬の自然

栽培のノウハウを包み隠さず、興味のある人に教えているところです。「企業秘密」などという考えはなく、むしろ、自分が味わった苦労を他の人に味合わせたくないと、全国を回って指導しています。

その道で成功した人、長く一つの道に取り組んでいる人は「自分がやったのだ」ということを強調しがちです。しかし、木村さんは、「自然が答えを教えてくれた。」「主人公はりんごの木」「自分はリンゴの木が育つのをお手伝いしています。職業・リンゴ手伝い業。」と言い、決して成功を鼻にかけることはありません。実際にお会いしてみても、それが上辺の謙遜ではなく、本当に心からそう思っていることが感じられました。いくつか技術的な指導もいただいたのですが、それよりも、その謙虚さに最も感動したのです。そしてその姿は、人としての生き方まで示しているようでした。

農家は自然と向き合う仕事です。特に無肥料無農薬の自然栽培においては、自然の力を最大限にいただかなければなりません。そのためには人として自然や作物に向き合う謙虚な姿勢が大切であるということを、木村さんと接して感じました。

興味がありましたら、「奇跡のリンゴ」ぜひ読んでみてください。（「プロフェッショナル」のビデオがありますので、興味のある方は声をかけてください。）

### 【畑のようす】

4日（火）朝、雪が積もりました。定山溪方面の山はもう真っ白です。

## 伊達家の食卓

【ヤーコン】と【人參】のかき揚げがとてもおいしいです。